仮か 真* 生いのなり 白ま 白ま 命を 萌え出い の翼蒼空高 で 輝が く楡陵に にく舞う

行く先に心は駆 がける

の宿に我が身はあ

ń سخ

の 露っ

夢ぬ

FP

我達の 液 夜空 かれら たぎり なき 今然え上がる 紅れって暮れって なれって暮れって 紅ない の類点 晚(lung)

夜空を焦がす

一瞬の夢

の夜気

野心を胸に 進みて行かん 果て無く続く 指標無き旅 はな まず しゃくな はに歩むは 月光の路 雪残っ える 春 寮と 友も の門が 出で に

凍い

てつきし原始林

髪凍る小路

ただ白雪 白ゟがね 何に をか

一の言語

小 長 日 谷 山 崩 輝 健 泉 君 君 作 作 曲 歌